

事業所名

運動療育センターこころ

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

20 日

法人（事業所）理念		①根拠のある支援 ②将来を見据えた支援 ③地域との関係づくり ④発達支援を多くの方にも知らせてもらえる未来を作る					
支援方針		一人ひとりの個性に合わせたオーダーメイド療育 遊び + リハビリ = できるを育てる 【個別プログラム】 【集団プログラム】で子どもの成長発達をサポートします。					
営業時間		8 時	30 分	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	(あり) なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態の確認：来所時の検温や視診、また活動中も常に観察を行い健康状態に留意します。 生活のリズムや生活習慣の形成：小集団の中でのスケジュールでの生活や排泄・清潔などの生活習慣が身に付くように支援をします。 基本的な生活スキルの獲得：ADLや身支度などの身辺整理などの指導を実際の場面で実施。特性に配慮した視覚支援や環境の構造化をして実施する支援を行います。					
	運動・感覚	個別での運動遊び：理学療法士等による姿勢分析や動作分析やNCプログラムを用いた評価を元に、粗大運動・巧緻動作などの運動療法を行い基礎感覚を刺激して運動の育ちを支援していきます。 小集団の中での運動遊び：評価を元にした得意な運動や感覚刺激を用いての小集団の中での運動遊びを行いながら、社会性やルールを学んでいきます。					
	認知・行動	一人ひとりに合った伝え方：NCプログラムを用いて子どもの発達段階を評価。子ども一人ひとりに合った伝え方を行い、活動の「できた」を経験していく。 見通しを持った予定：スケジュールの視覚化や構造化された環境の提供を通じて、予測しやすい状況を作り、安心して行動できるように支援します。					
	言語コミュニケーション	NCプログラムを用いての言語面(表出・理解)を評価して発達段階をアセスメントして、子ども一人ひとりに合った言語指示を行っていきます。また、ジェスチャーや表情を活用した非言語コミュニケーションの力を育むことで、相手との関わりを深める機会を提供します。さらに、会話のキャッチボールや順番を守る練習を通じて、一方的でなく「やりとり」を経験して、社会的なコミュニケーションスキルの発達を支援します。					
	人間関係社会性	段階的に他者と関わることで適切な対人スキルを身につけられるよう支援します。小集団の中での挨拶や順番待ち、ルールの理解といった基本的な社会的マナーを学び、小集団の中での役割を意識できるよう促します。また、遊びや共同作業を通じて、相手の気持ちを考えたり、自分の気持ちを適切に表現したりする力を育みます。					
家族支援		定期的な保護者面談で子育て全般について話す場を設けております。 LINEを活用しながら、活動時の様子を共有しております。		移行支援		保育園への施設支援や就学先の小学校への情報共有	
地域支援・地域連携		相談支援事業所と連携をして支援をしていきます。 他事業所や地域の保育園や幼稚園等とも情報共有を進めながら支援します。 自立支援協議会に参加し、他事業所との情報共有などを行ってま。		職員の質の向上		外部研修への参加。 地域の事業所からの外部講師による研修。 事業所内での研修。(虐待防止や身体拘束について、感染対策などの研修や発達特性についての勉強会など)	
主な行事等		公園での運動活動・クリスマス会などの時季イベント					